

3 地域環境の保全

環境保全の推進

グループ各社で取り扱う法規制物質等は、関係法令に基づき適正な運用・管理に努めています。PRTR制度における指定化学物質の2015年度の取扱量等については、2014年度より減少しました。排出量の大半は、機器塗装で使用する塗料に含有しているキシレンとトルエンが占めています。

また、PCB廃棄物は、2015年度にトランス1台の無害化処理を行ったことにより、保有していたすべての処理が完了しました。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
 関連・詳細情報 (P2参照) >
 PRTR制度の指定化学物質の物質ごとの取扱量等実績・
 発電設備のSOx、NOxの排出量等の実績 (グループ会社)

PRTR制度における指定化学物質の取扱量等

単位：トン

	2013年度		2014年度		2015年度	
	会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
取扱量		41.1		39.8		30.1
排出量(大気)	7	20.4	7	20.0	8	13.4
移動量		101.2		100.1		74.1

(注) 事業所における年間取扱量1トン以上の第1種指定化学物質(特定第1種指定化学物質は0.5トン以上)について集計(法に基づく届出値を集計)。

PCB廃棄物の保有状況等(2015年度)

単位：台

	処理状況		保有状況	
	会社数	処理量	会社数	保有量
トランス	1	1	—	—
コンデンサ	—	—	—	—
安定器	—	—	—	—
合計	1	1	—	—

大気汚染物質の排出量

単位：千トン

	2013年度		2014年度		2015年度	
	会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
SOx排出量		1.1		2.1		3.6
NOx排出量	4	2.5	4	2.9	4	2.7

(注) ばい煙量の法的測定義務により、SOx・NOx排出量を把握している会社のデータを計上。

森林の管理

九州林産(株)では、九州電力の社有林管理方針に基づき、2002年から、森林の持つ機能・特性に応じて区分管理を行うゾーニング(「木材を持続的に生産するゾーン」^{かんよう}、「水源涵養を維持・促進するゾーン」や「レクリエーションの場としてのゾーン」等に区分)施業に取り組み、2005年には、九州電力のFSC森林管理認証(適切な森林管理に与えられる世界的な認証)取得へ寄与するなど、社有林の持続可能な管理に努めています。

「レクリエーションの場としてのゾーン」では、風光明媚な山下池周辺に整備した「環境教育の場」を舞台に、九州電力と協働し、次世代層を中心とした環境学習に取り組んでいます(P33参照)。



木材を持続的に生産するゾーン



レクリエーションの場としてのゾーン(森の講話)

用語集をご覧ください

- >>PRTR(制度)
- >>キシレン
- >>トルエン
- >>大気汚染物質

- >>指定化学物質
- >>PCB(ポリ塩化ビフェニル)
- >>SOx(硫黄酸化物)
- >>NOx(窒素酸化物)

- >>ばい煙
- >>社有林
- >>FSC(森林管理協議会)
- >>水源涵養

- >>森林管理認証